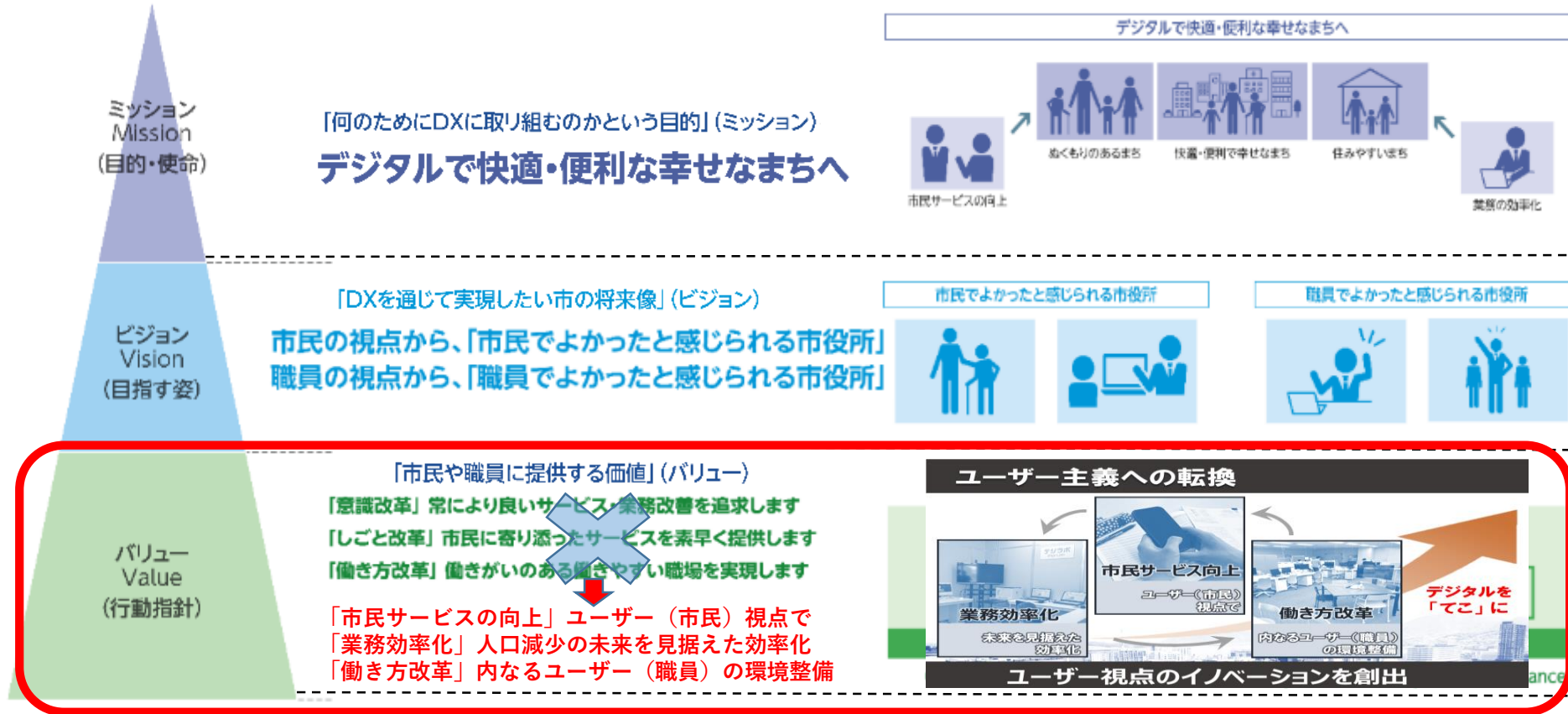


# 北九州市DX推進計画（第2期）概要（総論）

## 市が目指す姿



## DX推進のスローガン

スローガン  
[Slogan]

- ① 「書かない」「待たない」「行かなくていい」市役所へ
- ② 「きめ細かく」「丁寧で」「考える」市役所へ
- ③ 「働きやすく」「いきいきと」「成果を出す」市役所へ



各論 12の取組項目の推進

① マイナンバーカードの普及促進	⑤ サクソリティ対策の徹底	⑨ デジタル人材の確保・育成
② 行政手続きの...	⑥ データの利活用	⑩ 市民サービス向上の推進
③ デジタル・デバ...	⑦ データの利活用	⑪ 市民サービスの向上
④ 丁寧でわかりやすい広報・PR	⑧ データの利活用	⑫ ペーパーレス化の推進

詳細次のページへ

# 北九州市DX推進計画（第2期）概要（各論）


**① マイナンバーカードの普及・利用の促進**

**取組の方向性・目標**

- ✓ 市民サービス向上につながるマイナンバーカード利活用
- ✓ 利便性・安全性の周知と申請・交付体制の充実

**取組内容**

- ・カード利活用先拡大
- ・交付円滑化・P R




**② フロントヤード改革の推進**

**取組の方向性・目標**

- ✓ 区役所に行く場合でも、窓口で書く、待つ場面を減らす
- ✓ 定型・大量業務を集中処理するバックヤードを整備する など

**取組内容**

- ・スマラク区役所サービスプロジェクト




**③ デジタル・デバイス対策**

**取組の方向性・目標**

- ✓ 新たなデジタル技術に関心をもち、持ってもらえる機会の創出
- ✓ デジタルを導入した市民サービスの活用率80%を目指す など

**取組内容**

- ・普及啓発
- ・初心者向け講座
- ・デジタル化行政サービスの体験会




**④ B P R (業務改革) の取組の徹底**

**取組の方向性・目標**

- ✓ 全庁統一的な手法のもと、自発的・継続的にB P Rに取り組む
- ✓ 窓口職員の作業時間50%削減を目指す など

**取組内容**

- ・DX変革リーダーの定着支援
- ・ノンコア業務を集約した行政事務センターの業務拡大




**⑤ AI など先端技術の利用促進**

**取組の方向性・目標**

- ✓ AIなど先端技術によるDX推進
- ✓ 先導的なAI×データ活用プロジェクトの創出2件以上
- ✓ 年間合計150,000時間の作業時間削減を目指す など

**取組内容**

- ・AI等の導入及び活用促進
- ・先端技術の調査研究




**⑥ データの利活用**

**取組の方向性・目標**

- ✓ 行政の保有するデータを政策立案・評価に利活用する
- ✓ 民間の公共データ利活用を推進する など

**取組内容**

- ・オープンデータの拡充
- ・データ分析基盤等の構築
- ・データ連携基盤の構築等検討




**⑦ 働き方改革**

**取組の方向性・目標**

- ✓ 職員の柔軟な働き方や、持続可能なエンゲージメントの向上を実現する環境づくりをすすめる など

**取組内容**

- ・オフィス改革
- ・テレワーク環境の整備やペーパーレス化の推進
- ・意識改革、職場風土の変革




**⑧ 丁寧で分かりやすい広報・P R**

**取組の方向性・目標**

- ✓ デジタル化・オンライン化で便利になるサービスを実感してもらう
- ✓ デジタルを導入した市民サービスの認知度90%を目指す など

**取組内容**

- ・あらゆる媒体を活用
- ・高齢者等への広報・P R
- ・「北九州市情報化アンケート調査」の活用



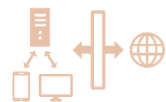
**⑨ セキュリティ対策の徹底**

**取組の方向性・目標**

- ✓ 環境の変化に対応した情報セキュリティマネジメントを図る
- ✓ 適切な個人情報保護 など

**取組内容**

- ・情報セキュリティポリシーの改正
- ・ゼロトラストを踏まえたセキュリティ対策
- ・外部監査の実施




**⑩ デジタル人材の確保・育成**

**取組の方向性・目標**

- ✓ 高度専門人材の確保・育成に努める
- ✓ 継続的に全職員の約3分の1をDX人材として育成 など

**取組内容**

- ・デジタル区分での採用
- ・外部人材の確保
- ・民間事業者や大学などと連携した体系的な人材育成




**⑪ 基幹業務システムの標準化**

**取組の方向性**

- ✓ 令和9年度末までに標準準拠システムへの移行を目指す
- ✓ 全業務システムの安定稼働を見据えたシステム基盤の構築・運用 など

**取組内容**

- ・業務プロセスの見直し
- ・新たなデータ連携の仕組みの構築
- ・ガバクラへの移行にかかる検討
- ・システム共通基盤の見直し



- ①「書かない」「待たない」「行かなくていい」
- ②「きめ細かく」「丁寧に」「考える」
- ③「働きやすく」「いきいきと」「成果を出す」
- ④ 3つのスローガン（DX推進）を支える取組

 刷新した項目

# 北九州市DX推進計画（第2期）概要（将来展望）

## （1）新しい行政のサービスモデルへ

### 新たな行政のサービスモデルへ



市役所DXで、「市民サービス向上」「業務効率化」「働き方改革」に三位一体で取り組み、それにより生み出された時間とマンパワーを使って、今後は「**一步先の価値観**」を体現する新しい行政のサービスモデルを創出していきます。

デジタル技術を最大限に活用し、

#### 1 行政需要への先回り

市民・地域・企業の行政需要を先回りしてつかみ、必要な対策について先手を打ちます。

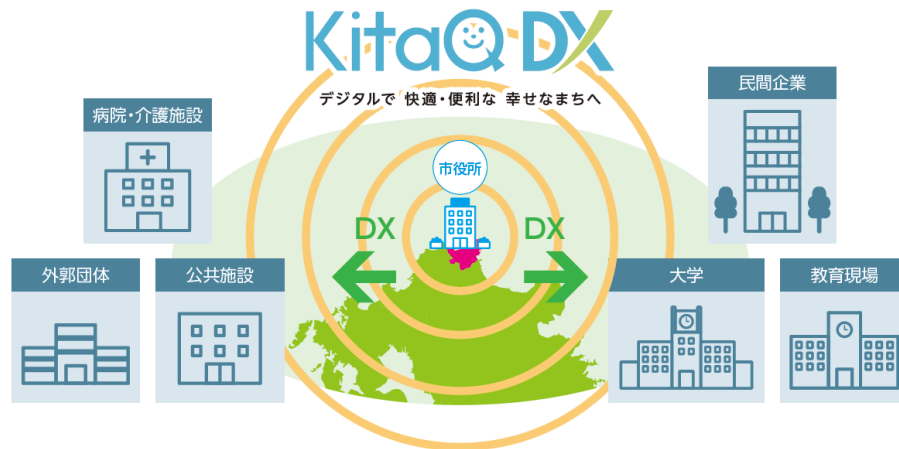
#### 2 一人一人にフィットしたサービスの提供

データの有効活用等により、市民一人一人にフィットした一気通貫の行政サービスをプッシュ型で提供していきます。

#### 3 市民・地域・企業のマッチング

アウトリーチでタイムリーに、必要な人に必要なサービスと情報を届けるなどして、市民・地域・企業をマッチングします。

## （2）地域DXの推進



市役所DXの取組を市役所外に波及させることで、部局や官民、さらには自治体内外の垣根も越えて、ゆるやかに大きなチームとして、社会課題の解決や、新たな価値の創造を目指す地域全体でのDXを推進します。

北九州地域に住み、働き、訪れる人、一人一人が「デジタルで快適・便利な幸せなまち」を実感できる、「**一步先の価値観**」を体現するサステナブルシティを実現していきます。

（例）

- ・市内企業のDXを推進（企業DX）
- ・DXをけん引する人材を育成（地域のDX人材育成）
- ・公共交通の利便性向上（公共交通DX）
- ・教育の質を高める教育DX・教職員の負担軽減につながる校務DX
- ・文化芸術やスポーツ、観光の振興
- ・地域全体で防災力を高める取組（防災DX）
- ・公共施設や社会インフラの維持管理の高度化・効率化（建設DX）
- ・保健・医療・介護・福祉サービスの維持・充実や、地域全体での見守り・支えあいの強化、相談支援体制の整備
- ・デジタル技術も取り入れた救急医療体制

# 主要な取組のロードマップ

